

みずほCustomer Desk Report 2022/07/01 号 (As of 2022/06/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.69 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.62	1.0446	142.75	1.2128	0.6876
SYD-NY High	136.80	1.0489	142.85	1.2189	0.6918
SYD-NY Low	135.56	1.0381	141.37	1.2093	0.6854
NY 5:00 PM	135.77	1.0483	142.30	1.2180	0.6903

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,775.43	▲ 253.88	日本2年債	▲0.0600%	▲0.0100%
NASDAQ	11,028.74	▲ 149.16	日本10年債	0.2300%	0.0000%
S&P	3,785.38	▲ 33.45	米国2年債	2.9544%	▲0.0862%
日経平均	26,393.04	▲ 411.56	米国5年債	3.0413%	▲0.0974%
TOPIX	1,870.82	▲ 22.75	米国10年債	3.0157%	▲0.0707%
シカゴ日経先物	26,440.00	▲ 320.00	独10年債	1.3635%	▲0.1370%
ロンドンFT	7,169.28	▲ 143.04	英10年債	2.2365%	▲0.1415%
DAX	12,783.77	▲ 219.58	豪10年債	3.6940%	▲0.0820%
ハンセン指数	21,859.79	▲ 137.10	USDJPY 1M Vol	13.00%	▲0.27%
上海総合	3,398.62	37.10	USDJPY 3M Vol	12.59%	▲0.12%
NY金	1,807.30	▲ 10.20	USDJPY 6M Vol	12.13%	▲0.02%
WTI	105.76	▲ 4.02	USDJPY 1M 25RR	▲1.39%	Yen Call Over
CRB指数	291.15	▲ 8.20	EURJPY 3M Vol	13.08%	0.13%
ドルインデックス	104.69	▲ 0.42	EURJPY 6M Vol	12.85%	0.35%

東京	東京時間のドル円は136.62レベルでオープン。四半期末でもあり国内輸入企業のドル買いもあってか136.80まで上昇したが、その後は一進一退の方向感を欠く展開。日経平均株価が軟調に推移したほか、米金利も低下したことからドル円は値を落とし、136.22レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.22レベルでオープン。欧州株が弱く寄り付いたことで朝方135.96円まで売られるが、ロシアが黒海のスネーク島から部隊を引き上げた、とのヘッドラインに円安に振れると136.44円まで上昇。その後もみ合い結局ほぼ変わらずの136.29レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円台半ばでスタート。四半期末で実需のドル買いが見られる中、一時136.80まで上昇する場面もあったが、その後は米金利低下や株式市場の軟調推移が重しとなり、一時136円を割り込む。早朝には買い戻し優勢となり、136.29レベルでNYオープン。朝方は米5月PCEコアデフレーターが予想を下回り、米金利低下の流れが継続。ドル円は136円を割り込み、米10年債利回りは約3週間ぶりの3%割れとなった。ロンドンフィクシングにかけては136円台を挟んだレンジで神経質な値動きを見せるが、午後はじり安推移となり、安値を135.56まで更新。終盤は米金利の下げ渋りとともに小幅値を戻し、結局、135.77レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04台半ばで方向感の無い推移でスタートするが、欧州時間では欧州株安・独金利低下を受けてユーロ売りが強まり、1.04レベルを割り込み1.0381をつける。その後、小幅値を戻し、1.0394レベルでNYオープン。米金利低下でドルが全面的に売られる中、1.04レベルを回復。その後も一本調子で上昇し、午後に1.0489まで高値を更新。終盤は高値圏で小動きとなり、結局、1.0483レベルでクローズ。

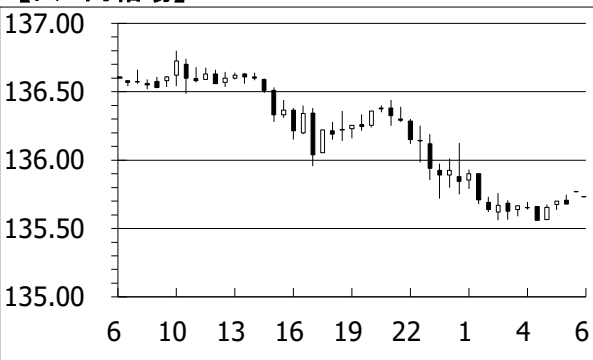
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月30日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	5月 -7.2%/-2.8%	-0.3%/4.2%
	15:00	英 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q 0.8%/8.7%	0.8%/8.7%
	18:00	欧 失業率	5月 6.6%	6.8%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.6%/6.3%	0.7%/6.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	25-Jun 231k	230k

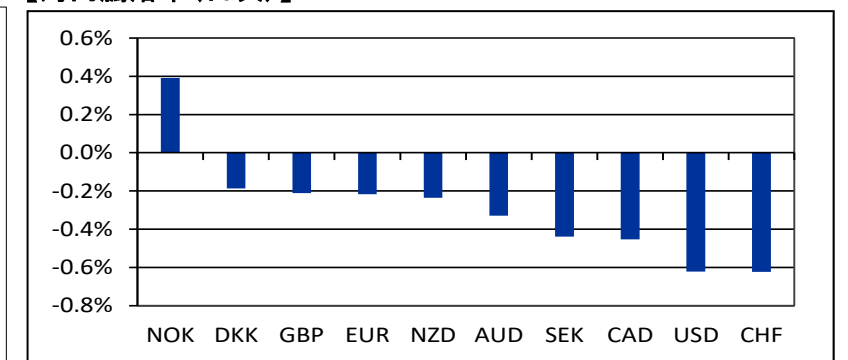
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月1日	08:30	日 東京CPI	6月 2.5%	2.4%
	08:30	日 東京コアCPI	6月 2.1%	1.9%
	08:30	日 東京コアコアCPI	6月 1.0%	0.9%
	08:30	日 失業率	5月 2.5%	2.5%
	18:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)	6月 0.7%/8.5%	0.8%/8.1%
	18:00	欧 コアCPI・速報	6月 3.9%	3.8%
	23:00	米 建設支出(前月比)	5月 0.4%	0.2%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	6月 54.5	56.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-136.70	1.0400-1.0530	141.50-143.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間にかけてじり安の展開。四半期末に伴う本邦実需のドル買いから東京序盤に136.80まで上昇も、一巡後は136円台半ばでの方向感の乏しい推移。米金利低下、欧州株の軟調推移から欧州時間以降じりじりと値を下げる展開。米国時間に米10年債利回りが3週間ぶりに3%を割り込むなど、ドル売り地合いが継続する中で一時135.56まで軟化。本日のドル円は堅調推移を予想。昨日の米5月PCEデフレーターは事前予想・前回は下回る結果となりドル売りが強まるきっかけとなったが、今後のFRBの政策運営に大きな影響を及ぼすほどのインパクトはないと考える。引続き、円を積極的に買う材料に乏しい中で基本的には、ドル円には上昇圧力が強まりやすいか。また、本日は米製造業PMI、ISM製造業景況指数の発表を控えており、米景気動向を見極めるうえで、こちらの内容にも注目していきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・逸見